



コラボ通信

地域に根差し、世界に開く

第31号
2012年6月1日



CCC（コミュニティ・コラボレーションセンター）は、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生が CCC を通して、地域に飛び出し、NPO や市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

学生スタッフ
Report☆



CCCランチタイムにイベントやっています～♪

CCCでは、お昼にもさまざまな活動報告会や説明会をやっています☆

長久手と星が丘で行われたものをいくつか紹介します！

バルーン講習会 byはびばる

風船を使って子どもたちと一緒に遊ぶ活動をしている学生達が、バルーン教室を開きました！
とてもかわいいお花がたくさんできました♪



手話 DE ランチ

月3回、前期は水曜日に行います。未経験の人も多いので心配はご無用！興味を持った人も迷っている人も一度お昼ご飯を持って遊びに来てください☆

TFT説明会 by国際協力研究会

Table For Twoという活動をすすめている学生から、気軽にできる国際協力についてお話を聞きました！毎週水曜日、長久手の学食（コミュニケーションホール）で食べられますよ☆



教えてグッディ！ 介助犬について知ろう！

介助犬（手や脚に障がいがある方の日常生活を助けてくれる犬）のPR犬グッディも登場！グッディが介助犬のお仕事を覚えてくれました！



今後お昼の報告会では、夏休みに活動できるものもたくさん紹介します！ ぜひ、聞きに来てくださいね～(^^*)

ボランティア活動報告

報告:CCC 学生スタッフ 高木 祐太(スポーツ・健康医療学科 3 年)

2012 年 4 月 7 日(土)、豊田スタジアムで行われたスペシャルオリンピックスの活動に参加しました。知的障がいのある子ども達と交流することが中学生以来ということもあり、はじめはとまどいや不安を感じていました。しかし、彼らとスポーツをするうちに、学校にいる時の彼らと外で活動する彼らとは、感じ方が違いました。私たちと同じようにスポーツを楽しむ彼らを見て、自然体で接することが大切だと気付かされました。それからは、とまどいや不安を感じていたことも忘れ、笑顔で参加者の方々と楽しむことができました。

僕のように知的障がいのある人とどう接したら良いかわからないという人はたくさんいると思います。そのような方々に、このスペシャルオリンピックスに参加していただきたいと思いました。



12 名の学生がボランティアで参加しました。

Letter from the Community

スペシャルオリンピックス日本・愛知ボランティア委員長 八塚奈保子 様より

スペシャルオリンピックス日本・愛知(SO)では、恒例の名古屋グランパスサッカーイベントが、4月7日(土)豊田スタジアムにて開催されました。このイベントは名古屋グランパスの地域交流活動の一つとして実施されます。また、たくさんの方へスペシャルオリンピックスの活動を知って頂く機会になっています。このサッカーイベントの企画の段階で、担当者から、是非大学生のボランティアさんの参加をお願いしたいとの要望がありました。大学生の皆さんに、知的障害のある人(SOではアスリートと呼びます)と一緒に触れあい、又、アスリートのことを知ってもらう機会になればとの思いでした。当日は風の強い日で、とても寒い日でした。愛知淑徳大学の皆さんには、イベント開始前から会場案内、誘導、警備を担当していただき、ゲーム中はそれぞれのアスリートにマンツーマンで担当していただきました。それぞれの業務では、SOの担当者の指示でなく、自分達で相談しながら自主的に動いていた皆さんに感動しました。また、皆さんの笑顔と声かけに、緊張気味だったアスリート達も、アッという間に緊張も解けて、会場全体が笑顔に包まれました。きっと皆さんも何かを感じて貰えたと思います。しかし皆さんのパワーは凄いですね!これからも、是非、沢山の愛知淑徳大学のボランティアの皆さんの、SOへの参加を、お待ちしております。ご協力有難うございました。

フィリピンフェスティバル



堀川フラワーフェスティバル



名古屋市農業センター 「こどもの日」イベント



CCC

PHOTO TRAIN

先生が大学生だった頃...

Vol.6 若松 孝司先生(交流文化学部 教授・CCC 運営委員)

- ・若松先生が大学生時代に夢中になったことはなんですか？
大学生の頃・・・朝が苦手で1時間目の授業は自主休講(汗)。でも、ちょいとばかり気合を入れたこともありました。
- ・気合を入れて講義に出席 ⇒ 200 人以上の受講生がいるのに、出るのは10名足らず。意地で出席してました。そのため、試験のときには知らない人が自分のノート・コピーを持ってたりして(お休)。
- ・気合を入れて海外に ⇒ 4年生の時にオリンピックが開かれる国に行こうと、ある外国語を選択。結局その国には行かなかったけれど、先生のメキシコのご実家に1ヵ月ほど居候。そこでいまの研究テーマを見つけた(ツッパ)。
- ・気合を入れてアルバイト ⇒ 稼いだバイト代がその日の飲み代に消える毎日。でも、そこでの知り合いが今の職場に何人か・・・(ツッパ)

学生へ一言☆

大学生時代に気合を入れたことは、何らかの形でいまの自分に役に立っているみたいです。でも、当時はそんなことを考える余裕もなく、必死でしがみついていた。だから、今やっていることに必死になること、それが大切なんだと思いますよ。



写真：
アルバイト先での wink 仮装

CCC を卒業してから...

Vol.1 藤本 己子さん(文学部 英文学科 2010 年度卒業)

- ・現在の職業はなんですか？
おとなり、韓国の全羅南道教育庁勤務。公立高校で日本語の授業を担当。授業以外に、週2回日本語教員向けワークショップを開催、クイズ・スピーチコンテスト等企画運営。高校生は習ったばかりの日本語で礼儀正しく挨拶してくれます。遠くから私を見つけて「あいしてる～」と叫んでくれることも。さすが情熱の国、積極的ですね、笑。彼らの素朴な疑問から、私が日本のことを、勉強させていただいています。
- ・学生時代はどのような活動をしていましたか？
「働くってなんだろう？」という疑問から県内、東京で企業インターンシップを経験。もともと食に興味があったので環境 NPO インターンにも参加。海外研修生と一緒に畑作業で汗を流す。そこで出会った仲間たちと、環境啓発活動の実施運営。「働く・食・環境」と好奇心の赴くままに学生生活を送る。

在学生へ一言☆

情報過多の時代だからこそ、できるだけ自分の目で、肌で、心で感じてください。大学時代に悩み動いたことは、将来あなたの糧にきっとなります。一見関係ないことでも、あとで振り返ると「ちゃんときつがっている」のです。私自身、ひしひしと感じています。海の向こうから、応援しています！

そして、全羅南道、とっても良いところなので是非おいで！



写真：桜の季節に行われる韓国の体育大会。かわいい生徒たちと一緒に。

今号から、在学中、CCCを通して活躍した卒業生の今を紹介する「CCCを卒業したから...」を Start ☆
憧れのあの先輩も、学部のあの先輩も、いろいろな先輩が登場します!(!) リクエストも受付中♪





2012 年度 CCC 学生スタッフ紹介



CCC 学生スタッフとは... ?

大学生として、皆さんと同じ目線で「学生の何かしたい!」という気持ちをカタチにできるようにサポートします!
いろいろな分野で活動してきた学生スタッフと一緒に、やりたいことを探していきましょう^^気軽に来てくださいね♪

長久手



【上段右より】
 宇井 千佳子 (医療貢献学科 4 年)
 高木 祐太 (スポーツ・健康医療学科 3 年)
 三島 里紗子 (国文学科 3 年)
 上田 愛実 (医療貢献学科 4 年)
 【下段右より】
 羽田野 有紀 (スポーツ・健康医療学科 3 年)
 早川 愛弓 (図書館情報学科 4 年)
 三輪 恵理 (メディアプロデュース学科 3 年)

【編集後記】

新しい学年になり、毎日たくさんの学生さんが来てくれます。少し緊張しながら来てくれる子たちを見ていると、私も初めて CCC に来たときの思い出します! なつかしい♪気軽に、CCC へ来てみてくださいね~☆

CCC 学生スタッフ
 上田 愛実 (医療貢献学科 4 年)

星が丘



発行：愛知淑徳大学
 コミュニティ・コラボレーションセンター

長久手

星が丘

利用時間	9:00~18:30 (授業日以外 9:00~17:00)	
場所	11 号棟 1 階	5 号館 1 階
連絡先	0561-62-4647(代)	052-781-1151(代)
e-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	
	http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/index.html	

【上段右より】
 村井 雄美 (ビジネス学科 4 年)
 塩崎 未来 (交流文化学部 3 年)
 加藤 エリカ (交流文化学部 3 年)
 中川 由有 (ビジネス学部 3 年)
 【下段右より】
 藤本 涼子 (交流文化学部 2 年)
 永草 修司 (交流文化学部 3 年)
 白井 早紀 (交流文化学部 3 年)
 森 裕子 (ビジネス学科 2 年)